

Exhibition

東南アジア初となる大規模なアール・ブリュット展を開催

Thailand and Japan ART BRUT - Figure of Unknown Beauty 日本とタイのアール・ブリュット - 知られざる美のかたち

開催概要 会場：バンコク芸術文化センター 8階メインギャラリー 入館料：無料 休館日：月曜

会期：2019年7月19日（金）～11月3日（日）10：00～21：00

出展者 日本28名、タイ23名 計51名 ※順不同・敬称略

伊藤喜彦（滋賀県）、今村花子（京都府）、岩岡保吉（宮崎県）、梅木鉄平（福岡県）、勝部翔太（島根県）、金崎将司（東京都）

木村茜（滋賀県）、草薨陵太（岩手県）、ごまのはえ（大阪府）、佐久田祐一（沖縄県）、佐々木早苗（岩手県）、澤田真一（滋賀県）

舩次崇（兵庫県）、鮎万里絵（長野県）、高丸誠（北海道）、長 恵（広島県）、富塚純光（兵庫県）、東本憲子（大阪府）、藤岡祐機（熊本県）

戸來貴規（岩手県）、細谷武（滋賀県）、三橋精樹（滋賀県）、宮川佑理子（埼玉県）、ムラギシマナブ（京都府）、吉澤健（東京都）

吉田格也（兵庫県）、五十嵐英之（京都府/岡山県）× 倉地雅徳（京都府）

ティワラット、ナパコン、ピヤヌ・クルアナ、プリーシャ、チャヤポン・トントウワム、ピチャヤ・ラーサッチャルン

パシン・シンサナー、マディ・ブンシュン、ティティ・カオプラタナ、サマー、キッティサック、サッポン

シュークリン・ボンパウ、ウォラワン・ニンマリー、テーパタン、スパルー・サンサイ、カトリア・アサワナン

ナパツツアポン・コーサナンタルー、トーサワ・サワチュート、サランユー・パンツァウイライピブーン

パンチャ・チャンパカウイン、ピーラパット・アカラバ、ジャカワン・ニンダムロン

「アール・ブリュットの本質（人間の内から沸き上がるような表現）を体現し、今の時代と社会に求められているアートであると示す」ことをコンセプトに、日本の28名とタイの23名の作品、約700点を5つの構成で紹介します。（日本側は15都道府県から28名、約520点の作品を展示）

1. 反復、濃密、均質、繊細 / Repetition, denseness, homogeneousness, delicateness

アール・ブリュットの生々しさや内から沸き上がるような表現に見られる特徴をテーマとした展示

2. 生の素材—日常の中から生まれる / Raw Materials—Creation in everyday life

日々の生活のなかで手に入りやすい素材が多く使われている。それらのユニークな素材に注目した展示

3. 創作の源にあるもの / Desire the source, what makes them to create

蒐集への欲求、信仰への欲求、身体感覚の欲求など創作の源に焦点をあて、“Brut”の奥底にある作者の思考や願いを探る展示

4. 関係性のなかに生まれるアート / Art, which is born in relationship

作品が生まれたり、作品が知られるようになった背景にある作者とその周囲の人とのコミュニケーションに焦点を当てた展示

5. さらなるクリエイションへ / For Further Creation

アール・ブリュットが新たなクリエイションを誘発する可能性を大きく内包していることを示すため、アール・ブリュットの作品に影響を受けた現代アーティストやクリエイターがコラボレーションや新たな創作物を展示